

議会報告会・意見交換会報告書

平成30年12月25日

茅ヶ崎市議会議長 白川 静子様

(委員会名)	総務常任	委員会
(委員長名)	岩田 はるみ	
(委員会名)	教育経済常任	委員会
(委員長名)	山田 悦子	

議会報告会・意見交換会の結果について、次のとおり報告します。

日 時	平成30年11月4日(日) 10時 ~ 11時30分			
場 所	市議会全員協議会室A			
出席議員	岩田 はるみ	菊池 雅介	和田 清	沼上 徳光
	岸 正明	青木 浩	榎木 太郎	
	山田 悦子	水本 定弘	豊嶋 太一	中野 幸雄
	水島 誠司	白川 静子		
参加人数	9 人			
議会報告会	【報告の内容】 (報告者) <u>中野 幸雄</u> 【質疑応答の内容】 別紙「議会報告会の質疑応答の概要」のとおり			
意見交換会	【意見等の内容】 別紙「意見交換会の概要」のとおり			
議会報告会・意見交換会から抽出した課題	別紙「議会報告会での課題について」及び「意見交換会での課題について」のとおり			

議会報告会での課題について

課題	議会報告会での意見等	議会報告会での議会側の対応
障害者法定雇用率について	障害者法定雇用率について、議会評価が拡充となっているが、何を拡充するのか。	障害者法定雇用率である2.5%に達していないため、働きやすい環境を整えるなど議会から働きかけている。また、商工会議所と連携し、障害者就労について、企業訪問をするなど、理解を深めることを求めた。
職員数の増加について	職員が増えているが、業務の内容や組織を見直して対応すべきと考える。人件費の増加は義務的経費の増加に繋がるため、議会としてはどう対応するか。	以前と比べ、業務がクロスしていることや、多くの幹部職員が退職しているため、退職者数と同じ程度の人数を採用しなければならない。また、組織改正については、議会として政策提言等を行い、改善を求めている。
行政水準について	自治体間格差はあってはならないと考えるが、県内類似市との比較・検討をしているか。	決算審査の中では、議論されていない。ただし、市税負担状況は県内16位中14位、一般会計歳出は16位、市債については9位という結果である。
柳島スポーツ公園について	柳島スポーツ公園のやり方について、適切だったか。身の丈にあった行政運営の在り方について、どのような議論がされたか。	公共施設の再編について見直しの必要性は感じている。毎年議会では、予算決算を含め議論しているが、本件は相模川堤防整備の必要性があつて実施した。来年度以降もさまざま確認していく。

意見交換会での課題について

課題	意見交換会での意見等	意見交換会での議会側の対応
道の駅整備事業の遅れについて	2年の延期について、議会としてどのように動いたのか、また見解を聞く。	議会としても突然の報告だった。行政としては地権者への交渉をかなりの時間かけてやってきたが、残りわずか数パーセントの用地買収ができず、行政の見込みが甘かった面もある。東京オリンピックに間に合わないという残念な結果だ。補助金申請期限の8月には間に合わず延期となった。この延期を機会に内容を精査すべきとらえている。
米寿の祝い金廃止について	29年度から米寿の祝い金が廃止されている。予算がないとのことだが、議員報酬をカットしても復活できないか。	議会でも廃止に反対の意見はあった。議会側としても身を切る改革は必要と認識している。削減の代替として、市内のまちぢから協議会からの申請により敬老活動への補助として支出している例もある。今後も事業の廃止や統合は進む。
空き家対策について	事業評価の空き家対策について、市内にも空き家が多い。崩れかかっているアパートや一般住宅がある一方、新築マンションやアパートが建設されている。空き家対策はどのようになっているのか。	空家等対策の推進に関する特別措置法及び茅ヶ崎市空家等対策計画に従い対応しているが、どんなに老朽化していても個人の財産であるので慎重に対処する必要がある。
議会だより掲載内容について	議会だより18頁の賛成、反対の理由の公明党の部分の内容に誤りがある、次号で訂正してほしい。	意見として賜る。
議会報告会のあり方について	市民の参加が少ない。この実態をどうとらえているのか。栗山町などのように地域に出て市民の意見を議会が吸収している。参加者は400人。自治基本条例をもとに評価してほしい。	広報広聴委員会で検討している。来年改選後に再検討し改善していく。議会基本条例を基本としており、議会改革検討会では議会基本条例の改訂を中心に議会改革に取り組んでいる。議員定数、報酬、政務活動費なども検討してきた。近々パブリックコメント募集となるので見てほしい。
職員人件費について	市役所職員が増えている。市長は人件費削減を抑えていくといていたが、議会としての見解は。	単年度の決算では効果はわかりにくい、働き方改革を実施する。総務常任委員会では政策提言として組織改正と人材確保について提言を行う。総合計画にあてはめての職員構成では対応しづらい部分もあり、改善の余地がある。
観光課設置について	観光課の設置を市に申し入れてほしい。	意見として賜る。
下水道事業と電柱の地中化について	公共下水道の管の寿命が来ていると言われているが、茅ヶ崎市はどうか。また、電線の地中化の見通しはどうか。	茅ヶ崎市下水道整備計画に基づき老朽化対策を行っている。電線の地中化も少しずつではあるが進めている。
まちぢから協議会について	自治会に入っていない市民には情報も入ってこない。まちぢから協議会のやりかたについて回答を。	市役所の担当職員がついて、少しずつ成熟してきている。各地域のことに関しては議会としての発言は控える。
議会報告会の周知について	今回の報告会の周知が遅れた。議会だよりに載っているが、まだ届いていない家庭もある。	今後周知の方法を改善する。